広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場
（電話・五城目501番）
印刷所 能代市・小沢印刷所

町県民税の申告

個人の町県民税は＝前年の所得について課税されますので昭和三十六年の所得について申告して下さい。

申告期限＝三月二十日です

申告しなかつたときは＝扶養控除、事業専従者控除などの適用が受けられなくなり、納税者に不利となります。

また申告がおくれたときも同様です。

なお申告についてご不審の点のあるときは、役場税務課にご遠慮なくお問合せ下さい。

◎三十六年度の町税は全部納期が経過しました。

未納がありましたら早めに納付して下さい。

農業の近代化には先づ農協合併へ

最近の農業をとりまく社会情勢の変化などから、農業近代化に対処するため、国や県で農協の統合問題を強力に推し進めているが、本町においても各農協から代表が参加して農協合併問題の本格的な調査研究を進めることになつた。

去る一月二十九日、町内各農協の代表者が集まり、農協合併問題について話し合ったが、さしあたりこの問題を調査研究する機関として、五城目町農協合併研究会をつくり、会長に北鳥町長を推して発足した。

この研究会にあくまでも調査研究が主体で、合併すべきか否かは今後の問題で、各単位農協の総会によって決められるものである。

合併問題研究会開く

さる二月十六日には各農協の全役員を対象とし、県からは団体指導室宮田補佐と農業事務所渋谷係長を迎え、役場第一会議室を会場として研究会が開かれた。

「なぜ農協の合併を必要とするか」について、県側から現在の農業状態を分析説明のうえ農協合併の必要性が説かれ、また農協役員側からは、合併は上からの押しつけでなく、あくまでも農家の盛上りによる合併が必要であるから、末端までの啓蒙指導が才一であることを強く望まれた。

宮田補佐の説明のあらまし

県では農協合併助成法に基いて、昭和四十年までに、できるだけ市町村行政区域を下らない単位で農協合併を強力に推進する方針で、昨年から急速にこの問題を進めている。つまり農業の新しい姿に対処できるために農協はこのままの姿ではいけない。都市勤労者と農業者の一人当り所得格差は、今後ますますその格差が開いてゆく。国が農業構造改善事業を強力に奨めているが、これを農家が受け入れるには農協の規模が小さいため困難の状態である。

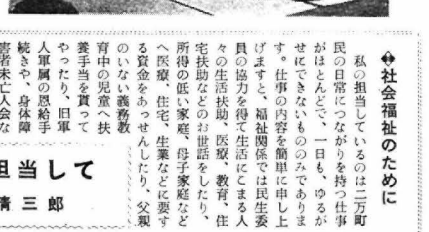
県内の大規模農協と小規模農協の優秀組合を比較したデーターからみれば信用、管理、購買各事業が何れも大規模農協が有利である。とくに合併した比内農協の実例として組合の対外的信用が大きくなり、預金が急激にふえている。

県としては、合併後の姿として農家に今迄より不便を与えないで、より多くサービスのできる支所の存置を望んでおり、また営農指導など今迄より強力な指導態勢にきづきあげるようにしたいと考えている。

温かいご慰問

本年一月以降の五城目養老院の慰問者は次のとおりであるが恵まれない老人たちに温かい思いやりを与えて下さった皆さんに対して町当局は厚く感謝の意を表している。

特に秋田市立高校前PTA会長の渡辺道蔵氏のご好意により秋田市立高校生約六〇名が大挙養老院を訪問、盛沢山の慰問を行なって老人たちを大いに喜ばせた。



（市立高校生の養老院慰問）

養老院へ

一月一日　八郎潟町真坂のんきみかん2箱、かがみ餅2ケ
一月三日　八郎潟町あけぼの会員七名　みかん2箱　菓子五〇〇円位
一月五日　琴浜村社協　餅15K
一月十九日　新丁　柳原金太郎レコード四枚（価一、二〇〇円）
一月二十三日　馬場目帝獣寺章　皆千春外十二名　菓子二袋宛　りんご2ケ宛　唄踊披露
二月五日　今町小杉田啓一　理髪奉仕
二月七日　秋田市立高校生六〇名　菓子の接待、あんま奉仕　ブラスバンドと混声合唱

流れに思う

佐藤直治

勤めの往かえり、馬城橋から眺める川の姿の、日ごとに広く明るく変ってゆくたたづまいに、ふと幼い日の唄の一節を想い浮べたものである。

「野を流れてこの末遂に、海となるべき山水も、しぼし木の葉のくぐるなり…」

遥かなる山奥からつづけてきた長い長い流れの旅路。仲よく同伴を寄れ、素直に従行をつづけ流れくだる間に、いつしか立派な川成りに成長し、訪れ来た町都の入口でハろと驚異の目をあげたであろう河岸の状景……。ドラグライン、ショベルトーザー等々近代機械力をフルに駆使する世紀の大土木事業「馬場目川改修」の偉大な景観。やがて数年ならずして実現するであろう広く明るい河の流れ。

延々つづく護岸や堤防の頼もしくも美しい姿。かくてこそ「山と川のある町」の名をほしいままに、濁水はん流の洪水災禍を忘れた町、情緒あふれる平和な町、わが愛する郷土、五城目町に脱皮するであろう……。

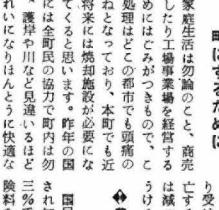
慈愛の母のおもかげ偲ぶ森山を写してくだる馬場目川の流れ、詩の町、絵の町、五城目町として県下に誇る日の、ほど近き夢にれかけてか。

馬場目川の河水は悠々と流れ静かにくだってゆく。

水五則

一、自ら活動し他を働かしむるは水なり
一、常に己の進路を求めて止まざるは水なり
一、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり
一、自ら深うして他の汚れを洗い、清濁併せ容るるの量あるは水なり
一、洋々として大洋を充し発しては蒸気となり雲となり凝っては雪と霰と化し而もその性を失わざるは水なり

（筆者は土木課長）



福祉行政を担当して

住民課長　三浦清三郎

◆社会福祉のために

私の担当しているのは二万町民の日常につながりを持つ仕事がほとんどで、一日も、ゆるがせにできないものばかりです。仕事の内容を簡単に申し上げますと、福祉関係では民生委員の協力を得て生活にこまる人々の生活扶助、医療、教育、住宅扶助などのお世話をしたり、所得の低い家庭、母子家庭などへ医療、住宅、生業などに要する資金をあっせんしたり、父親のいない義務教育中の児童へ扶養手当を貰ってやったり、旧軍人軍属の恩給手続きや、身体障害者未亡人会などのお世話をすることがおもな仕事で、不幸な人が一人もいなくなるよう努力いたしております。

◆きれいな町にするために

家庭生活は勿論のこと、商売をしたり工場事業を経営するためにはごみがつきもので、この処理はどこの都市でも頭痛のたねとなっており、本町でも近い将来には焼却施設が必要になってくると思います。昨年の国体には全町民の協力で町内は勿論、護岸や川など見違いるほどきれいになりほんとうに快適な環境でした。お互いにちょっとした心がけでできることですから、綺麗な明るい町にするよう定の歳になると返ってくる恩給のようなものです。保険料の滞納は税金と同じ取扱いですから納付は必ず納めるようにしていただきます。また生活にこまる人の保険料は免除されますから住民課へお出でください。

◆国保事業は相互扶助

国民健康保険は全町の約七割一分にあたる一四、二八六人の加入で、治療のために支払う金は年間約千九百万円にのぼります。国保税は一世帯当り平均四三千二百六十四円いただいております。

昨年は不幸にして赤痢、その他三十二名も発生し、相当額の費用を要しました。幸い死亡者はなかったが今金は一世帯当り平均七千四十八円となっております。医療費の値上りや給付の制限が廃されたことなどで、昭和三十七年度は今までより年間約八百万円は支払いが増加いたします。補助金の確保にも頑張っています。国保税が主体となっている行政の財政であり、病気になやむ人も発生したいなどの悪循環を断ち切るためにも国保財政の安定に努力しております。

◆健康保持のために

伝染病の予防は、ごみのない綺麗な生活環境が才一要件であります。国保税は一世帯当り平均四三千二百六十四円いただいております。

昨年は、病気治療のために国保からお医者さんへ支払っているのは一世帯当り平均七千四十八円となっております。医療費の値上りや給付の制限が廃されたことなどで、昭和三十七年度は今までより年間約八百万円は支払いが増加いたします。補助金の確保にも頑張っています。国保税が主体となっている行政の財政であり、病気になやむ人も発生したいなどの悪循環を断ち切るためにも国保財政の安定に努力しております。

◆豊かな老後の生活のために

国民年金については、よく認識され加入率は該当世帯の九九、三%で非常に高い率であり、保険料を納めていないものがまだ相当あります。保険料はただ掛けっぱなしのものではなく、一定の歳になると返ってくる恩給のようなものです。保険料の滞納は税金と同じ取扱いですから納付は必ず納めるようにしていただきます。また生活にこまる人の保険料は免除されますから住民課へお出でください。

◆国保事業は相互扶助

国民健康保険は全町の約七割一分にあたる一四、二八六人の加入で、治療のために支払う金は年間約千九百万円にのぼります。国保税は一世帯当り平均四三千二百六十四円いただいております。

昨年は不幸にして赤痢、その他三十二名も発生し、相当額の費用を要しました。幸い死亡者はなかったが今金は一世帯当り平均七千四十八円となっております。医療費の値上りや給付の制限が廃されたことなどで、昭和三十七年度は今までより年間約八百万円は支払いが増加いたします。補助金の確保にも頑張っています。国保税が主体となっている行政の財政であり、病気になやむ人も発生したいなどの悪循環を断ち切るためにも国保財政の安定に努力しております。

◆豊かな老後の生活のために

国民年金については、よく認識され加入率は該当世帯の九九、三%で非常に高い率であり、保険料を納めていないものがまだ相当あります。保険料はただ掛けっぱなしのものではなく、一定の歳になると返ってくる恩給のようなものです。保険料の滞納は税金と同じ取扱いですから納付は必ず納めるようにしていただきます。また生活にこまる人の保険料は免除されますから住民課へお出でください。

むすび

限られた紙面なので、ほんのあらましを申し上げましたが、昭和三十七年度の事業については前年度の実績を反省しながら更に前進するための予算編成にあたっておりますので町民各位のご協力を特にお願い申しあげます。

インフルエンザの猛威を防ぎましょう

最近東京都に発生したインフルエンザは全国的にまんえんの徴候を見せ、既に県内にも相当の数の患者の発生を見ているが、我が町も、この猛威を防止するために去る2月16日対策打合会を開催、予防対策委員として次の諸氏を選任、積極的な活動を開始することになった。

今村久吉郎、笹尾長、荘司正、草皆茂作、烟沢実、加藤孝三、岩谷正俊、荒川要市郎、二木敬治、見玉孫左工門、小林富蔵、藤田一郎、樂地俊竜、辻米夫

尚具体的な対策については、予防ワクチン1000人分を既に申込んであるが、これの入手は仲々困難かつ時期を失するおそれがあるので、取敢えず管内各小中学校、幼稚園の児童生徒を対象にマスクの使用、うがいの励行、手洗い、入浴の実施、群衆の中への外出をさけることなど徹底的な指導に乗りだすことになった。そのため使用するマスクおよびうがいい薬は町費から支出して各学校へ配布する。又予防は家庭の熱心な協力が必要なので、町民各位はよろしくご協力下さるようお願いする次第である。

寒い＝火に注意

ストーブエントツは完全か？取灰のしまつは大丈夫か？コタツ電気器具の取扱いは？

社会福祉の行政を担当して

福祉行政を担当して

……県内外研修者語る……（1）

合同研究集会開催される

6日（火）午前10・30　於中央公民館

こゝ数年来本町より県内外へ多数の研修者を派遣しているが合同して報告を兼ねた研修会がなかったので、中央公民館主催で去る六日（火）午前十時半より、中央公民館に於て開催した。この度はそのものによって最近の派遣者を中心に、約四〇名に案内したが出席者は半数位であった。先ず集会は次の順で進められた。

○開会の集い＝（一〇、三〇～一〇、四〇分）

㈠開会のことば＝中公加藤勝太郎

㈡主催者あいさつ＝小林教育長、県内外の研修成果から生して本町の社会教育推進に役だてて戴ければ幸いである旨の、あいさつがあり

㈢あいさつ＝二木文教社会委員長　研修の成果を何か特色ある本町の社会教育活動に、具体的に現わしてほしいと力強い激励の言葉があり

㈣日程説明＝阿部社教主事

○研究成果の発表（一一、〇～一一、二〇分）

▼小野文子さん（婦人県外研修視察）

静岡県の或る村では村長はじめ当局が、社会教育の推進を行政の基盤にしている。合同して研修を兼ねた研修会がなかったので、中央公民館主催で去る六日（火）午前十時半より、中央公民館に於て開催した。この度はそのものによって最近の派遣者を中心に、約四〇名に案内したが出席者は半数位であった。先ず集会は次の順で進められた。

○開会の集い＝（一〇、三〇～一〇、四〇分）

㈠開会のことば＝中公加藤勝太郎

㈡主催者あいさつ＝小林教育長、県内外の研修成果から生して本町の社会教育推進に役だてて戴ければ幸いである旨の、あいさつがあり

㈢あいさつ＝二木文教社会委員長　研修の成果を何か特色ある本町の社会教育活動に、具体的に現わしてほしいと力強い激励の言葉があり

㈣日程説明＝阿部社教主事

○研究成果の発表（一一、四〇～一一、〇〇分）

▼石井俊光君（青年農事研修長野県）

社教団体の活動には余りふれる機会はなかったが、産業行政の浸透はめざましいものであり、特に畑地の利用は高度なもので、その成果の大きいことをみとめられるのかがいわゆる生産学習の活発な展開をうながわれた。

○研究協議＝（一一、〇〇～一一、二〇分）

★最初に話合いの糸口をみい出すために、中央公民館側から問題提起として次のようなことがらを述べた。

社会教育の推進には基本的に三つの要素が必要とされる。

その一つは「組織機構の整備」である。つまり、充分に活動しやすい機能をもたせることである。その二つは「人的要素の拡充」である。組織機構の整備によって、よほど緩和されると思うが、やはり適切な職員（質と人員）の配置が重要な要素である。更にその三つは「施設設備の充実」である。集会に必要な施設と、集った場合に必要とされる設備、備品の充実が大切な要素となるであろう。この三要素が揃って充実されることによって、始めて社教活動の成果が大きく期待出来るものと確信していることをのべた。

更に青年、婦人教育の問題については、従来の散発的な行事中心活動ではなしに年間を通じて系統的な学習とその成果に基づいた活動を速急に進めることを強調し、又本町の体育機関、団体の内容整備による「体質改善」によって、全町に亘って生活にスポーツをとり入れる「社会体育の振興」をめざして進む時期にあることを、問題として提起したものである。

厚生に関する意見をきく会

さる二月九日全町各地区から選抜された有識者の方々の参集を得て住民課行政の一切に関する意見をきく会が開催された。

町長は新年度から役場内に心配ごと相談所を設け、ゆゆしき町民の心配ごとや苦情処理に当

わずかの時間も惜しい高校生が秋田からわざわざ五城目の養老院を慰問してくれました。ブラスバンドの演奏や、合唱、あんま等仕からお菓子まで持参しての至れり尽せりのサービスで、身寄りのないおとしよりを慰めました。

〔写真は歌う市立高校音楽部の学生たち。

社教活動今年の課題（3）

――各社教団体の質的向上に期待――

【婦人団体】

最近全般的傾向として婦人団体の活動は、その質において伸びなやみをしていると言えよう。特に婦人会はその感を深くしているが、会の性格からしてそんなものかもしれない。然もこれは全国的傾向として、県内の地域婦人団体研修会において、真剣に論議し強く反省されていることであるが、そこには1会員の網羅組織　2役員と会員の遊離　3事務員の貧弱　4会員の熱意不足、などあげられるが当町の状況からしてみて「事務局の貧弱」が、最も大きな課題であろう。従来からの学校女教師に、その事務局幹事を依頼しているところもあるが、全く任せきりで先生方も迷惑千万とお手あげ、こゝらあたりが役員の古い頭からか？

先生方の指導を受けて自分達で或る程度やれるように、まず会員にサービスする役員達から学習すべきであろう。一般的に言って系統的、継続的学習はされていない。もとよりその計画もないから、ことによっては学習の段階ではなく他の方は学習成果の上にたっての、実践の段階だと言われている今の時代からみると各団体の質的な格差は極めて大きいと言わねばならない。こんな状態からぬけきれないでいるために、婦人団体は旅行団体だとか御用団体だとか酷評する人もあると思う。年間に総会のほか事業は2、3回程度の団体もある。役員会だけは毎月1回位開いているようだが、何を話合って何をなやんでいるのか、ただ話合っただけにとどまっている会もあるようだ。極端な場合だと総会に印刷物1枚ない団体もあって、予算、決算や事業計画報告など、どう処理されているのかわからない会員も数あるとか、こんなことだから婦人団体は、他の団体や機関から利用？されて、役員達は忙しい忙しいとなげいているから全くおかしい。

今こそ自分達の団体に役員、会員一体になって思いきった「解剖のメス」を入れることが急務であろう。その手術にはサービス機関も進んで応援する用意が出来ていると思うし、一日も早く決意して婦人団体の組織と運営に新らしさの加えられることを望んでいる。

然し最近に至って社会情勢の急変による会員減少等の影響少ない婦人団体は、役員間に於いてその体質改善の要を、真剣に論議されてきているので、ここで前進の足場が確立されるものと思う。本当につきぬけていこうとする真の「勇気」を希求するものである。

【体育機関・団体】

本町の体育振興活動も実質的には、33年度以降にそ㊀組織の整備が行なわれた。まず国で設置した「体育指導委員会」の誕生によって社会体育一層の振興が定義づけられたが、近代オリンピックの創設も、又第二次大戦で徹底的に敗戦のうきみを味わった日本の復興も、スポーツの振興によってそれを早め、戦後の各社教団体もその取り入れ方は真剣であり活発であったが、それはスポーツの大会が中心であり、結局大会で終始した感が強かったのである。

然しその後それらを更に充実すべく体育指導委員会の働きかけいわゆる指導、助言によって、体育活動の全町的な団体として「体育協会」の再編成を33年度に行ない、以来今日に至っているが、当町は体協そのものの財政的面と人材の面や、さてはその運営機構の面で困難点があり、町当局の援助を求めながらその活動を続けてきているが、二年次に至ってはレスリングのインターハイの年であり四年次には国体と言う世起の大体育事業が実施され、町民一人一人の体位向上につながる事業は出来なかったが、それには事務局の弱体もあると思うが、しかしそれにはやはり「自主団体」としての態勢の確立を期して、その実をあげる施策を講ずる必要があると思う。従来のように中央公民館で一手にそれをこなすには無理があり負担が重すぎることである。それでも今迄は全社教事業の約半分は、体育活動に勢力を向けざるを得なかったわけである。それにつけても体育指導委員と体協の常任理事を中心とした、全く頭のさがる親心と力の入れ方で、町民も音くしく感謝していることだと思う。

ために毎年青森～東京駅伝、全県駅伝、秋田～男鹿駅伝等には、本町より選手を多く参加させ或いは出場し、特に秋田～男鹿駅伝では初年度で優勝を飾り、二三年度には準優勝するといった成績をあげ更には十和田～八幡平駅伝に初出場した際には、全国の強豪20数チームの中で堂々10位に喰い込み、県内の注目を集めたことはもとより、県外にもその名を止めさせたことも、その活躍の現れと言ってもよいと思う。新年度に当っては体育指導委員会の研修事業を中心として、体育団体自体の「体質改善」と、体育行事の「質的向上」をめざして、町内の隅々まで手をのばして生活にスポーツをとり入れての「社会体育」振興に重点をおく年度だと考えている。スポーツの普及による町民の身心の健全と和合を図ることに役立てたいものである。今後の活躍を更にお願いしてやまない。

よい子たちの健康診断

よい子たちが首を長くして待っている入学式も目の前にせまっています。

今年の入学するよい子たちは昭和三十年四月二日から三十一年四月一日まで生まれたこどもたちです。

平和な、そしてのびのび成長した元気な顔を見ると本当にうれしいことです。

このたびの身体検査を受けもったお医者さんは口をそろえて健康であることを云っています。

これも食生活の改善や各家庭の明るい生活の現れでしょう。

やがてランドセルしょってにこにこ通学するのを、先生やみなさんの姉さん兄さんが待っています。

ゆりかごから墓場までと言われる住民にもっとも関係の深い広範囲な行政の各方面にわたって活発な論議が展開され、町の今後の行政の在り方にプラスする面が非常に多く、所期の目的を充分に達することを得た。

町長は新年度から役場内に心配ごとや苦情処理に当る旨を言明したので、これが実現のあかつきには町民各位から大いに利用していただき、一日も早く明るい社会の建設に努力したいものである。

なお住民課行政の面についてお気づきの点があれば、ご遠慮なくどしどし意見をおきかせ願いたいと思う。

入夫婚姻による妻の父母の取扱いについて

遺族年金受又は遺族給与金の受給について今回新たに入夫婚姻による妻の父母を特に遺族の範囲に加えることになりましたのでご周知下さい。

但し弔慰金の場合は既に遺族として認められています。又支給順位は遺族のうち祖父母の次として最後順位となっています

×　×

旧国家総動員法による有給の軍属で、従来旧会共済組合から年金を受けられなかった者を準軍属として、遺族給与金が支給されますので該当の向は役場住民課へお申しいで下さい。

(1)軍から直接給料を支給されていた者

(2)比較的女子が多く、大東亜戦争開始後の者が多いこと

北方漁業季節労務者への引揚給付金の支給

窓口から

千島列島、カムチャッカ半島で季節労務者として漁業に従事していた人は引揚者給付金の支給適用をうける権利がありますので至急住民課へご連絡下さい。

次の条件の方が該当します。

(1)いわゆる季節労務者であること（船員、事務員は除く）

(2)昭和20年北方地域で半年以上労務に従事した者であること。

(3)終戦後に本邦に引揚げた者であること。

尚給付金の申請は本年五月十五日で時効となりますから至急を要します。

醫曲学習会がはじまります

さる二月十七日（土）に結成された「醫曲学習会」は本県醫曲界の元老、沢木元吉を招いて毎月才二、三、四土曜日に学習会を開きます。入会希望の方は中央公民館へお申込み下さい。初心者も歓迎します。